

A1 川と緑の散策コース

歩行距離 約8.2㌾。 13,700歩 2時50分 近道 約7.6㌾。 12,700歩 2時間30分
 (但し、ポイント毎に10分の休憩見込む)

仲町台→1500(900)→長福寺→800→真照寺→(早苗地蔵⇒西原公園)500→淡島神社→700
 →杉山神社(大熊町公園⇒子育て地蔵⇒つつじ公園)→900→鶴見川合流地点(川向ポンプ場)→
 (川向しものや公園)→鶴見川サイクリングロード→(鴨池人道橋)3800→ JR 鴨居駅

仲町台駅を下車、新横浜元石川線を越え、土手を登ると、ここが都筑かと疑うばかりの一面の田園
 風景(折本町農専地区)が広がります。これだけでうれしくなってしまう楽しいコースです。



折本町の広大な田畑から見る眺望に昔の郷愁が甦るようだ (2013.1月撮影)

ここからは晴れた日には丹沢の山並みと富士山の眺望が楽しめます。左右に新鮮な野菜を見ながら畑の中の細い道をしばらく行くと、下り坂にかかります。そのY字路(角に小さな社があります)を右に下ります。近道はここを左に曲がって小さな竹林を過ぎてしばらく歩むと長福寺の裏手に出ます。右側を下りきると、やや広いバス通りに出ます。正面に折本モータースの工場があります。左折して観音前のバス停を過ぎ、しばらくして広い通り(新横浜元石川線)に出ます。左折して一つ目の長福寺東側のバス停の左手の丘に目指すお寺が青い空をバックに見えてきます。



長福寺 春はサクラ、秋は大銀杏が目を楽しませてくれる (2013.1月撮影)



長福寺

港北ニュータウンの開発と共に「久松山・長福寺」の墓地の整備と建物の立替が行なわれました。墓苑の中心にはこの大事業を記念して「聖観音菩薩」が建立され、その台石には、335 体余りの仏像が彫り込まれています。青い空とをバックにして建つ鐘楼と桜の対比は絶妙です。

次は**真照寺**を目指します。広い道を南に 300m 程行くと折本橋（信号あり）に出ます。ここを右折して**大熊川**に沿って 500m も行くと左手に**真照寺**が見えてきます。

真照寺

周辺には自然が多く残り、山門をくぐると、右手に大王松と蓮如の像、左手に親鸞聖人の像と名木古木指定のハクモクレン、サルスベリが迎えてくれます。境内には「大いなる田舎」折本をこよなく愛した佐藤惣之助の詩碑や大野林火、中戸川朝人の句碑もあります。



真照寺の境内は四季折々の花が咲くように工夫され、横浜市指定の名木古木が多数あります。

真照寺を出たら直進して小さな真照寺橋を渡ります。南側に折れると右手の小高いところに**早苗地蔵**があります。彼岸には、苦労して村に水を引いた先人の供養が今も行なわれています。地蔵立像に寛文 11（1671）年と刻銘されています。念仏供養塔としては最も早いものだそうです。そして少し広い道に出たら左折、西原公園に沿って右折し、道なりに行くと新横浜元石川線を跨ぐ陸橋に出ます。下を行きかう車を見ながら直進すると直ぐに四つ角に出ます。右折して坂道と階段を下りきると**淡島神社**の境内に出ます。



淡島神社



大熊町杉山神社

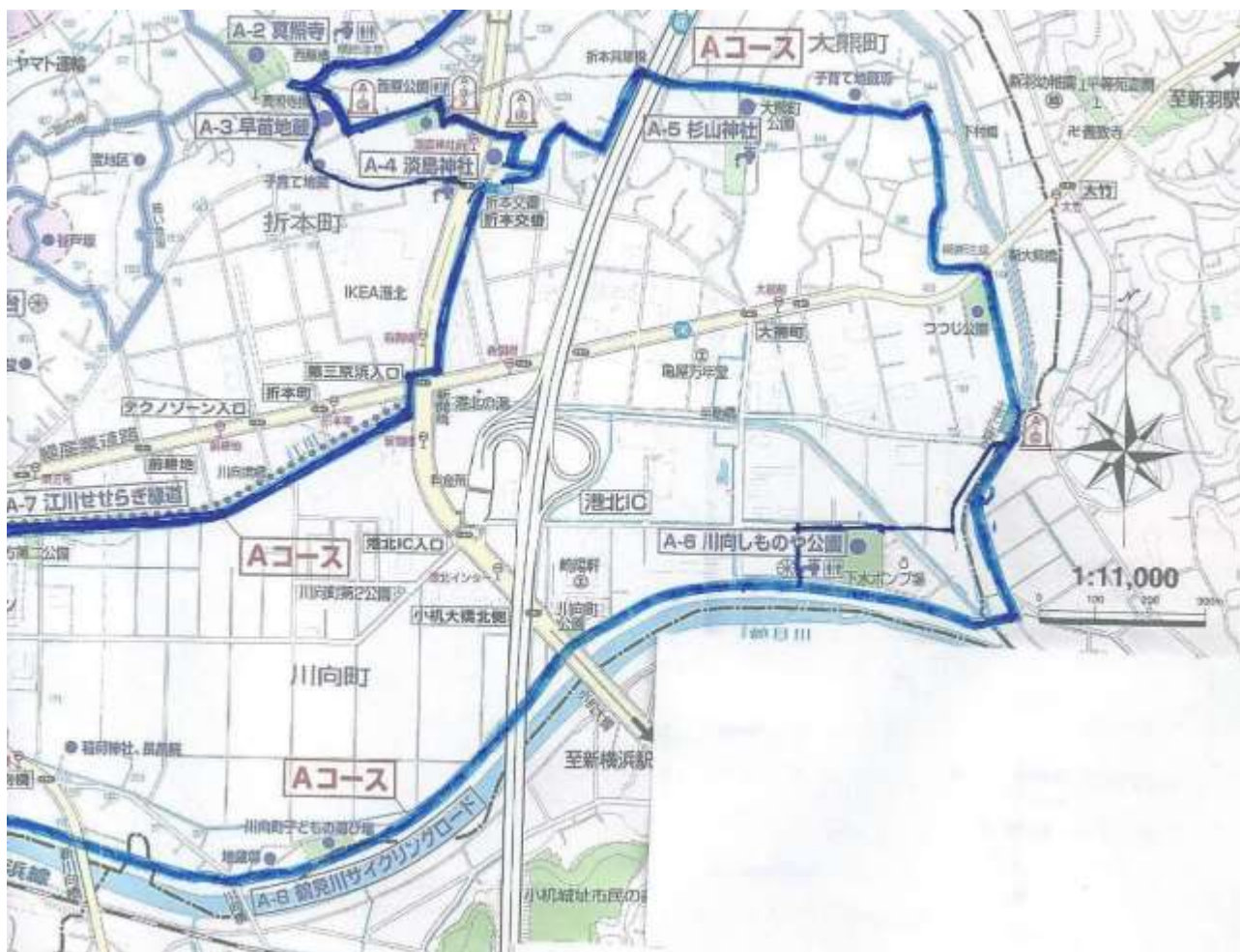
淡島神社

折本町の由緒ある神社で、本社は和歌山県にあると言われています。女の神様が祭っており、特に江戸末期から明治初期に栄え、3月3日の大祭には、品川の芸者衆などが列を成して参拝し、針供養、村芝居、縁日などで賑わったといえます。そしてもと来た道を引き返し、四つ角を直進、左折して直ぐに右折するとやがて第三京浜を跨ぐ折本貝塚橋に出ます。真っ直ぐ 200M も進むと右手に杉山神社が静かなたたずまいを見せています。

杉山神社

日本武尊、八坂、稻荷神社も祭られ、当地の鎮守神祭も行なう。境内には大熊公民館、子供遊園地もある。サクラの老木が 10 本ほどあり春には花見で賑わい、また楠木の太木もあります。

神社を出ると直ぐ右手に大熊町公園があり、更に進むと左手に子育て地蔵尊があります。そこを直進し道なりにカーブをしながらゆるい坂道を下り、大熊川に沿って下ると緑産業道路に出ます。左手に新大熊橋を見て横断し、更に進むと鶴見川との合流点が見えてきます。ここでは現在東京大環状線の工事が行なわれており、大規模な橋脚工事にお目にかかれます。突き当りを右折して川向ポンプ場の裏手に入ります。サクラに囲まれた小さな流れ（江川せせらぎ緑道の続き）を越えて土手を登ると、平成8年に鶴見川左岸のポンプ場の上に造られた約6000㎡の川向しものや公園に出ます。ここからの南東に開けた眺望は素晴らしく、新横浜のホテルや日産スタジアムが間近に見え、素晴らしく気持ちの良い開放感に浸れます。



サイクリングロードは川向町の第三京浜の下から青葉区鉄町の常盤橋まで、鶴見川左岸に造られた全長11.8kmのコースです。約3kmの川沿いの自然を楽しみながらの散策をすると、鶴見川を渡る中原街道の鴨池大橋のきれいなアーチが見え、その手前の鴨池人道橋を渡ると終点のJR鴨居駅に到着です。ここから17kmほど下ると鶴見川の河口に達します。



大熊川と鶴見川が合流する地点



環状道の工事は急ピッチ！



冬の鶴見川サイクリングロードの出発点



鶴見川に夕日が眩しくきらめきます



ゆっくりと風景を楽しみ、写真を撮りながら歩いたので3時間ほどかかってしまいましたが、途中のお寺など、じっくり見ても、普通なら2時間半あれば鴨居の駅に到着します。ここからはJRで新横浜へ出ても、反対に中山へ出ても市営地下鉄に連絡しています。



サイクリングロードで見かけた可愛いベンチ



子供達の楽しいゲーム（遊び）が面白いですね

もう少し距離を短縮したい方は「A2」のコースを選択してください。30分ほど短くなります。
足の調子が悪い方は「真照寺」橋を渡らず、下の道を直進し、直接折本交差点に出て「第三京浜入り口」交差点の裏から「江川せせらぎ緑道」に入ってください。